

障害者実態調査アンケート結果

—災害について—

(令和5年1月27日現在)



令和5年3月

公益社団法人東京都身体障害者団体連合会

東京都障害者社会参加推進センター

まえがき

東京都では、10年ぶりに首都直下地震などの被害想定を見直しました。

家具などの固定化はだいぶ進むなど防災対策が進んだところもありますが、タワーマンションなどの建物の増加により、以前とは異なった視点での対策が必要になっております。

今後30年での地震発生確率が70パーセント程度とされている今、改めて災害に対する意識調査を実施いたしました。

災害には、地震、水害、テロ、ミサイル攻撃などがあります。それぞれの災害状況で対処の違いはありますが、10年前との違いは、コロナ禍が加わっているということです。

避難所でも距離を保つことは、プライバシーを守ることも合わせて考えなくてはならないことですが、段ボールベッドなどの普及で以前とは違いがあります。

いずれにしても状況などを確認し、自宅で待機する判断も大切になっております。中で、自宅などの備蓄品や、非常持出備品の参考にしていただく目的での項目に少しでも皆様のお役に立てば幸甚です。

最後に今回アンケートにご協力いただきました皆様及び配布などにご理解、ご協力を賜りました各団体の役員の皆様に紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

令和5年3月1日

公益社団法人東京都身体障害者団体連合会
東京都障害者社会参加推進センター
会長 小西 慶一

令和4年度障害者実態調査

「災害について」

1.回答条件

①無記名回答

②対象者 都内在住の身体障害者・知的障害者・精神障害者

③調査期間 令和4年(2022)年 11月 20日から令和5年(2023)年 1月 27日

2.回答率

送付数	サンプル数	回答率
173	103	60%

3.その他

- ・サンプル数は全て有効な回答であった。
- ・質問にご回答頂けていない箇所は「問題なし」又は「無回答」としている。
- ・「問題なし・あり」にご回答していないが「問題あり」で個別に回答している箇所については「問題あり」とみなしている。

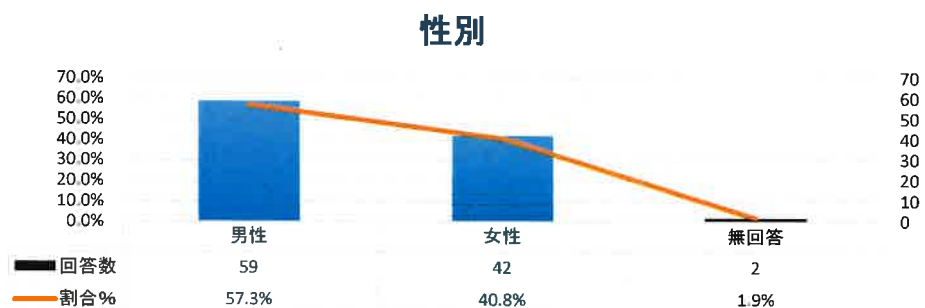
I 回答者の状況

1-1性別について

単位:人・%

	男性	女性	無回答	合計
回答数	59	42	2	103
割合%	57.3%	40.8%	1.9%	100%

[回答結果]

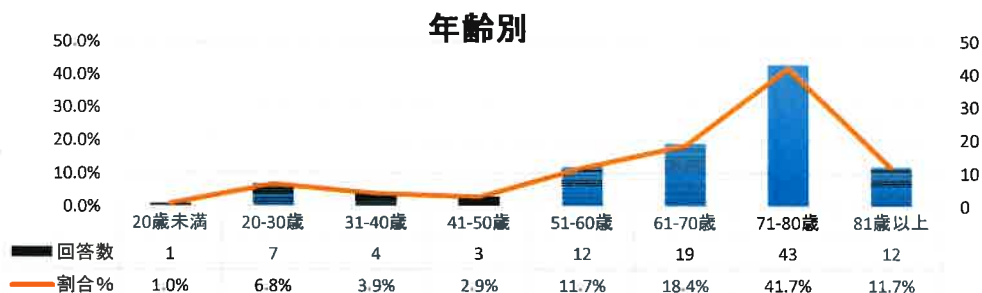


(ポイント)

- ・回答者の男女数は男性の方が多かった。

1-2年齢について

[回答結果]



(ポイント)

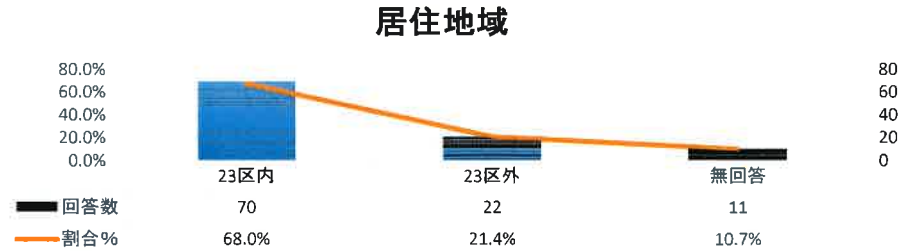
年齢構成では71歳以上が41.7%で最も多かった。

1-3居住地域について

単位:人・%

	23区内	23区外	無回答	合計
回答数	70	22	11	103
割合%	68.0%	21.4%	10.7%	100%

[回答結果]



(ポイント)

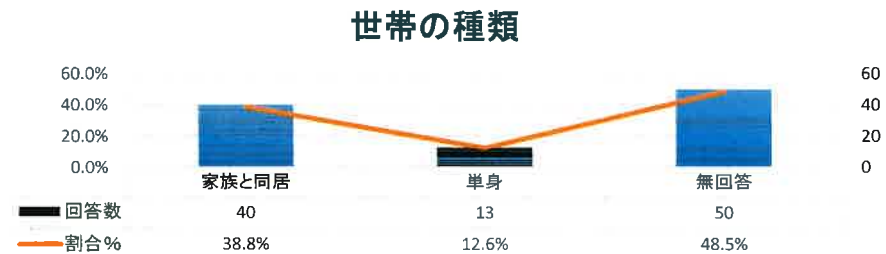
・23区内居住者は23区外居住者のおよそ3倍強であった。

1-4世帯の種類について

単位:人・%

	家族と同居	単身	無回答	合計
回答数	40	13	50	103
割合%	38.8%	12.6%	48.5%	100%

[回答結果]



(ポイント)

・回答者の半数近くは無回答であった。

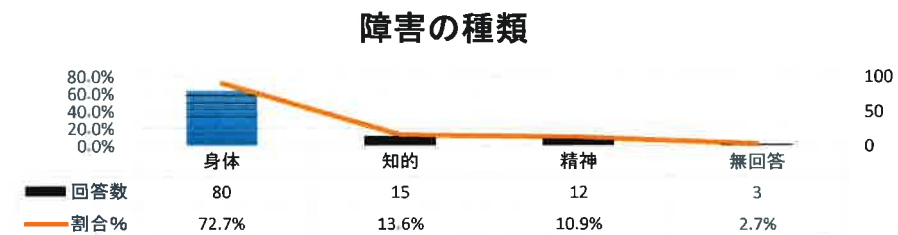
1-4障害について

(複数回答可)

単位:人・%

	身体	知的	精神	無回答	合計
回答数	80	15	12	3	110
割合%	72.7%	13.6%	10.9%	2.7%	100%

[回答結果]



(ポイント)

・障害では、「身体障害」をお持ちの方が8割を占めていた。
 ・今回重複障害をお持ちの方が3名いた。

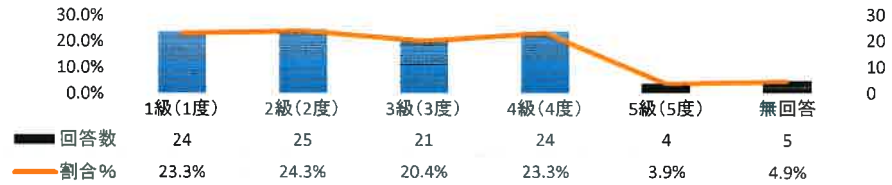
1-5障害等級について

単位:人・%

	1級(1度)	2級(2度)	3級(3度)	4級(4度)	5級(5度)	無回答	合計
回答数	24	25	21	24	4	5	103
割合%	23.3%	24.3%	20.4%	23.3%	3.9%	4.9%	100%

[回答結果]

障害の程度



(ポイント)

・障害の程度については1級(1度)から4級(4度)が同じ割合であった。

1-6身体障害の種類について

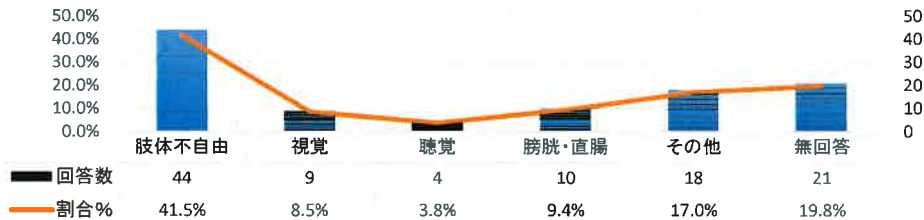
(複数回答可)

単位:人・%

	肢体不自由	視覚	聴覚	膀胱・直腸	その他	無回答	合計
回答数	44	9	4	10	18	21	106
割合%	41.5%	8.5%	3.8%	9.4%	17.0%	19.8%	100%

[回答結果]

身体障害の種類



(ポイント)

・その他の内訳としては、音声機能障害・言語障害・高次脳機能障害・失語症などであった。

1-7肢体不自由の方で使用している車いす・補助具について

単位:人・%

	手動車いす	電動車いす	補助杖 両松葉杖	その他	合計
回答数	7	10	22	2	41
割合%	17.1%	24.4%	53.7%	4.9%	100%

[回答結果]

使用している車いす・補助具



(ポイント)

・補助杖・両松葉杖を使用している方が半数を超えていた。

Ⅱ「災害情報などの取得」についてのアンケート

(取得する情報源について)

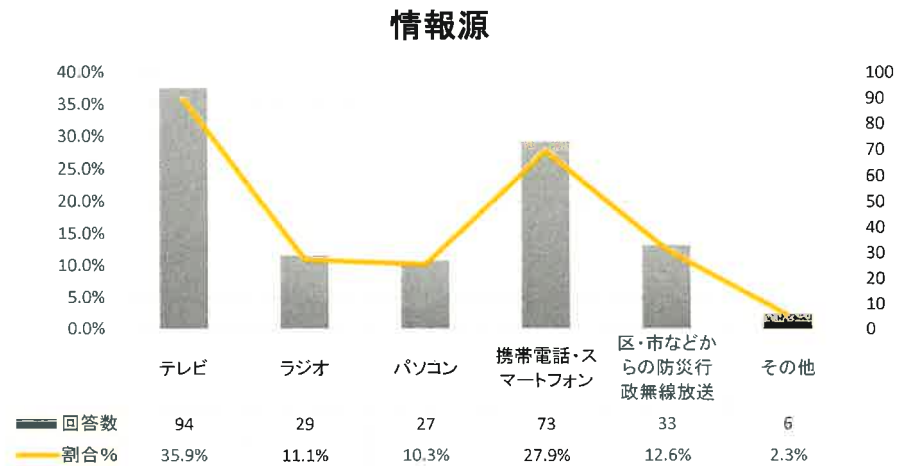
1 日常生活でよく取得する情報を3つあげてください。

(複数回答可)

単位:人・%

質問項目	回答数	割合%
テレビ	94	35.9%
ラジオ	29	11.1%
パソコン	27	10.3%
携帯電話・スマートフォン	73	27.9%
区・市などからの防災行政無線放送	33	12.6%
その他	6	2.3%
合計	262	100%

[回答結果]



(ポイント)

・テレビが4割近くを占めていて、その次に携帯電話・スマートフォンとなっていた。
 今後は更に手元で情報を得られる携帯電話やスマートフォンからの情報収集が増加することが伺える。

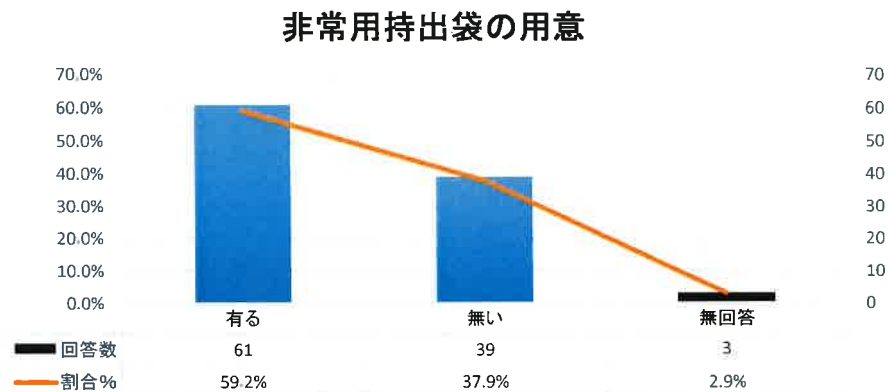
2 ご家庭の備蓄品について

2-1非常用持出袋の用意について

単位:人・%

	有る	無い	無回答	合計
回答数	61	39	3	103
割合%	59.2%	37.9%	2.9%	100%

[回答結果]



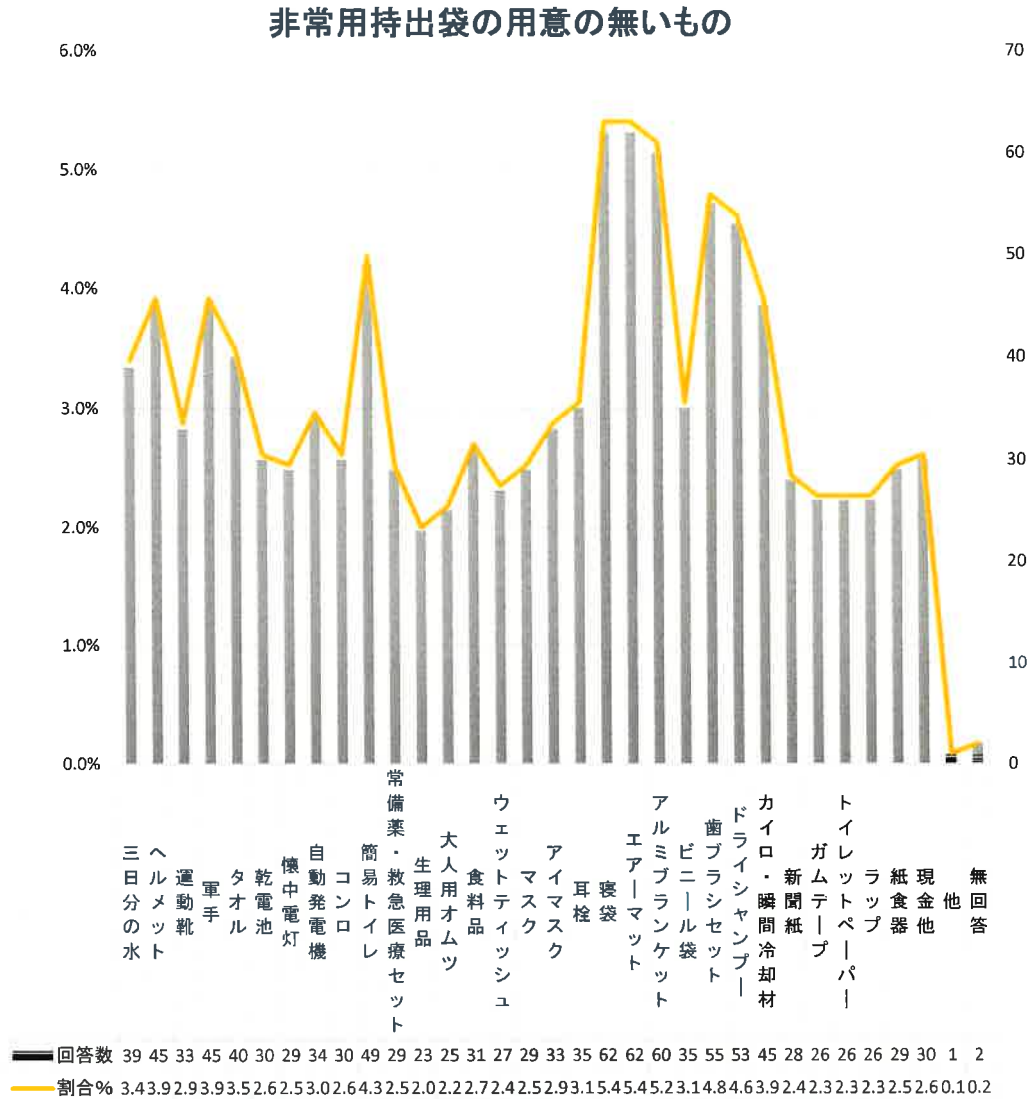
(ポイント)

・6割弱の方が非常用持出袋の用意があるという結果となった。

2-2非常用持出袋の用意の無いものについて

(複数回答可)

[回答結果]



(ポイント)

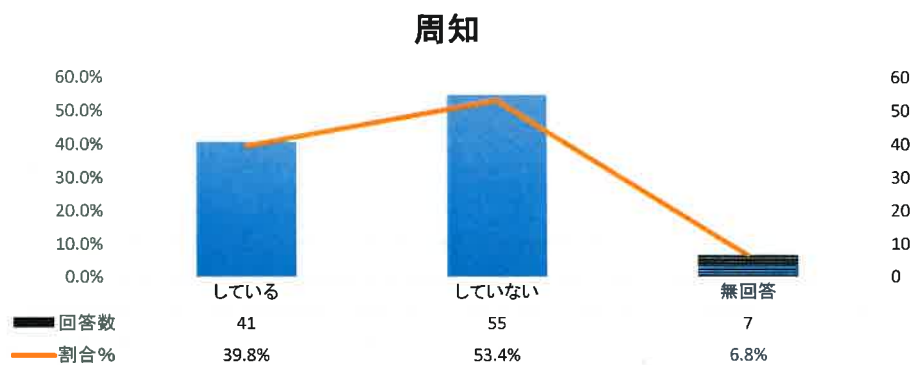
- ・この結果を利用して、何を準備しておくべきかの確認をして頂くことがこのアンケートの目的の一つとなっている。
- ・キャッシュレスの時代となっているが、非常事態では、現金が有効となるので準備をして頂きたい。

3 町内会や家族単位のタイムライン周知度について
3-1周知について

単位:人・%

	している	していない	無回答	合計
回答数	41	55	7	103
割合%	39.8%	53.4%	6.8%	100.0%

[回答結果]



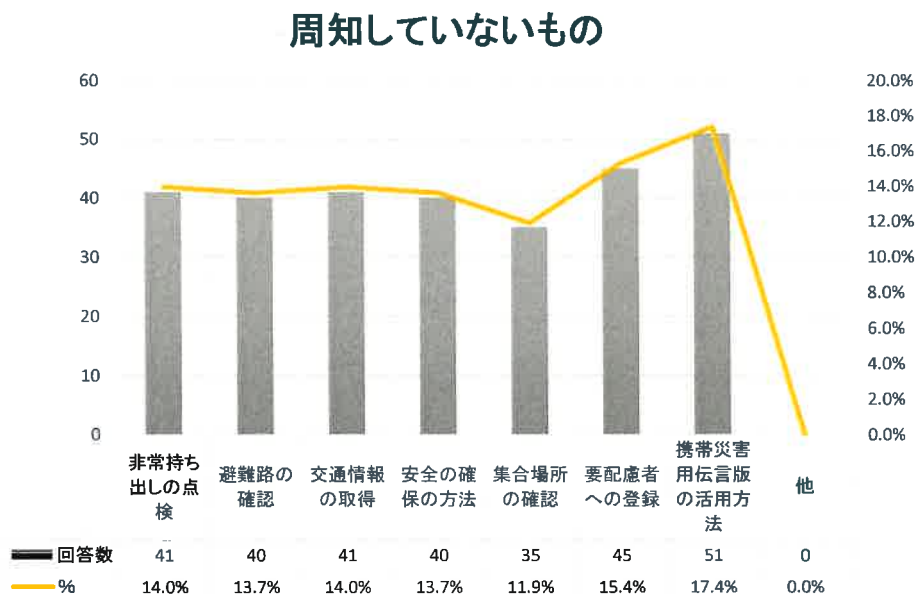
3-2周知していないものについて

(複数回答)

単位:人・%

質問項目	回答数	%
非常持ち出しの点検	41	14.0%
避難路の確認	40	13.7%
交通情報の取得	41	14.0%
安全の確保の方法	40	13.7%
集合場所の確認	35	11.9%
要配慮者への登録	45	15.4%
携帯災害用伝言版の活用方法	51	17.4%
他	0	0.0%
合計	293	100.0%

[回答結果]



(ポイント)

・こちらも災害時に備えて、これらの要件の再確認をして頂くことがこのアンケートの目的の一つとなっている。

東京都では、10年ぶりに首都直下地震などの被害想定を見直しました。

家具などの固定化はだいぶ進むなど防災対策が進んだところもありますが、タワーマンションなどの建物の増加により、以前とは異なった視点での対策が必要になっております。

今後30年での地震発生確率が70パーセント程度とされている今、改めて災害に対する意識調査を実施します。

災害には、地震、水害、テロ、ミサイル攻撃などがあります。

国民保護法に基づく緊急一時避難施設の指定として、弾道ミサイルが落下する可能性がある場合の行動について、「Jアラート」を活用し、防災行政無線、スマートフォン・携帯電話の緊急速報メールなどを通じて、緊急情報を伝達します。

都営地下駅舎、東京メトロ駅舎などへの一時避難の情報提供をしております。

詳しくは、「内閣官房 国民保護ポータルサイト」-弾道ミサイル落下時の行動-をご覧ください。

それぞれの災害状況で対処の違いはありますが、10年前との違いは、コロナ禍が加わっているということです。

避難所でも距離を保つことは、プライバシーを守ることとも合わせて考えなくてはならないことですが、段ボールベッドなどの普及で以前とは違いがあります。

いずれにしても状況などを確認し、自宅で待機する判断も大切になっております。

I ^{かいとうしや じょうきょう} 回答者の状況

1-1 ^{せいべつ} 性別について

だんせい 男性	じょせい 女性

1-2 ^{ねんれい} 年齢について

20歳 みまん 未満	20歳 ~30歳	31歳 ~40歳	41歳 ~50歳	51歳 ~60歳	61歳 ~70歳	71歳 ~80歳	81歳 いじょう 以上

1-3 ^{す ばしよ} お住まいの場所など

23区内	23区外	かぞく 家族との どうきよ 同居	たん 単 しん 身

1-4 ^{しょうがい} 障害について

しんたいしょうがい 身体障害	ちてきしょうがい 知的障害	せいしんしょうがい 精神障害

1-5 障害等級しょうがいとうきゅうについて

1級 <small>きゅう</small> (1度)	2級 <small>きゅう</small> (2度)	3級 <small>きゅう</small> (3度)	4級 <small>きゅう</small> (4度)	5・6級 <small>きゅう</small>

1-6 身体障害しんたいしょうがいの種類しゅるいについて

1 肢体不自由 <small>したいふじゆう</small>	4 ぼうこう・直腸障害 <small>ちよくちようしょうがい</small> (オストメイト)
2 視覚障害 <small>しかくしょうがい</small>	5 その他 ()
3 聴覚障害 <small>ちようかくしょうがい</small>	

1-7 肢体不自由したいふじゆうの方かたで使用しようしている車くるまいす・補助具ほじょぐについて

手動 <small>しゅどう</small>	電動 <small>でんどう</small>	補助杖 <small>ほじょつえ</small> ・両松葉等 <small>りようまつばなど</small>

その他た ()

II 「災害情報などの取得」についてのアンケート

以下の「災害情報の取得」については、ご自分のこととして回答、してください

(取得する情報源について)

1 よく取得する情報源を3つあげ、番号に○をつけてください。

1 テレビ	5 区・市などからの防災行政無線放送
2 ラジオ	6 その他 ()
3 パソコン	
4 携帯電話・スマートフォン	

2 ご家庭の備蓄品について

避難用品などについてお聞きします。

1 非常用持出袋の用意がある
2 用意がないものに○をつけてください (複数回答可)
ア 1日ひとり3リットルとして、3日分の水
イ ヘルメット、運動靴など

- ウ ていでん 停電になった時とき用乾電池、懐中電灯かいちゆうでんとう、自動発電機じどうはつでんき、コンロなどの準備じゆんび
- エ かんい 簡易トイレの用意ようい (携帯けいたいトイレ凝固剤ぎょうこざい)
- オ じょうびやく 常備薬、救急医療セットきゅうきゅういりょう、生理用品せいりようひん、大人用オムツなどおとなよう
- カ かんづめ 缶詰などの食料品しょくりようひん (乾パンかん、アルファーマイなど保存食こめ、チョコレートなどのお菓子ほぞんしょく)
- キ しょうどく 消毒アルコールウェットティッシュなど
- ク ぐんて 軍手、タオルなど
- ケ マスク、アイマスク、耳栓みみせんなど
- コ ねぶくろ 寝袋、エアーマット、アルミブランケットなど
- サ ぶくろ ビニール袋 → 目隠しポンチョめかくしの作成さくせいなどに使用するしょう
- シ つきは コップ付歯ブラシセット、ドライシャンプーなど
- ス じょうびよう 常備用カイロしゆんかんれいきやくざい (瞬間冷却材) など
- セ しんぶんし 新聞紙、布ガムテープぬの、トイレットペーパー、ラップ、紙食器かみしょつきなど
- ソ 現金(カード決済、銀行などのATMが使用不可になる可能性がある)
- ナ その他 ()

3 町内会や家族単位のタイムライン周知度について

1 周知している
2 周知していないものに○をつけてください（複数回答可）
1 非常持ち出しの点検
2 避難路の確認
3 交通情報の取得
4 安全の確保をどうするか
5 集合場所の確認
6 要配慮者への登録をしている
7 携帯の災害用伝言版などを活用している
8 その他（ ）

(令和4年度都身連障害者実態調査)

じゆういけんらん
(自由意見欄)

きょうりょく
(ご協力ありがとうございました)